

令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 神奈川県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	足柄上病院	2	厚木市	市立病院	20
-	汐見台病院	3	大和市	市立病院	21
-	がんセンター	4			
-	循環器呼吸器病センター	5			
-	こども医療センター	6			
横浜市	市民病院	7			
横浜市	みなと赤十字病院	8			
横浜市	脳卒中・神経脊椎センター	9			
川崎市	川崎病院	10			
川崎市	井田病院	11			
川崎市	多摩病院	12			
横須賀市	市民病院	13			
横須賀市	うわまち病院	14			
平塚市	平塚市民病院	15			
藤沢市	藤沢市民病院	16			
小田原市	市立病院	17			
茅ヶ崎市	市立病院	18			
三浦市	市立病院	19			

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名					
病院名		足柄上病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	9,237,337	
決算規模(千円)	2,340,123,593	
標準財政規模(千円)	1,326,342,165	
財政力指数	0.88898	
経常収支比率(%)	98.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	104.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	70,784			
1 経常収益	70,784			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	70,784			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	70,784			
2 経常費用	70,784			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	66.1
材料費	-	-	25.3	19.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	9.3
減価償却費	-	-	9.5	10.2
経費	-	-	22.7	28.2
(うち委託料)	-	-	12.6	13.6
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	70,784			
(うち支払利息)	70,784	-	1.3	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	3,798,649			
経常収支比率	100.0		101.9	99.9
医業収支比率	-		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	86.6

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		神奈川県	
市町村・組合名			
病院名	汐見台病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	9,237,337	
決算規模(千円)	2,340,123,593	
標準財政規模(千円)	1,326,342,165	
財政力指数	0.88898	
経常収支比率(%)	98.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	104.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収	全国平均	類似平均
総収益	536			
1 経常収益	536			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	536			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	536			
2 経常費用	536			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	66.1
材料費	-	-	25.3	19.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	9.3
減価償却費	-	-	9.5	10.2
経費	-	-	22.7	28.2
(うち委託料)	-	-	12.6	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	536			
(うち支払利息)	536	-	1.3	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	5,690			
経常収支比率	100.0		101.9	99.9
医業収支比率	-		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-

備考:
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名					
病院名 がんセンター					
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	9,237,337	
決算規模(千円)	2,340,123,593	
標準財政規模(千円)	1,326,342,165	
財政力指数	0.88898	
経常収支比率(%)	98.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	104.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,397			
1 経常収益	2,397			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	2,397			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,397			
2 経常費用	2,397			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	59.8
材料費	-	-	25.3	27.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	12.4
減価償却費	-	-	9.5	8.2
経費	-	-	22.7	19.2
(うち委託料)	-	-	12.6	10.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	2,397			
(うち支払利息)	2,397	-	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	38,018			
経常収支比率	100.0		101.9	103.7
医業収支比率	-		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	93.1

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名					
病院名 循環器呼吸器病センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	9,237,337	
決算規模(千円)	2,340,123,593	
標準財政規模(千円)	1,326,342,165	
財政力指数	0.88898	
経常収支比率(%)	98.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	104.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	50,436			
1 経常収益	50,436			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	50,436			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	50,436			
2 経常費用	50,436			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	66.1
材料費	-	-	25.3	19.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	9.3
減価償却費	-	-	9.5	10.2
経費	-	-	22.7	28.2
(うち委託料)	-	-	12.6	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	50,436			
(うち支払利息)	50,436	-	1.3	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	1,516,935			
経常収支比率	100.0		101.9	99.9
医業収支比率	-		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名					
病院名					
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	9,237,337	
決算規模(千円)	2,340,123,593	
標準財政規模(千円)	1,326,342,165	
財政力指数	0.88898	
経常収支比率(%)	98.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	104.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	139,487			
1 経常収益	139,487			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	139,487			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	139,487			
2 経常費用	139,487			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	59.8
材料費	-	-	25.3	27.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	12.4
減価償却費	-	-	9.5	8.2
経費	-	-	22.7	19.2
(うち委託料)	-	-	12.6	10.2
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	139,487			
(うち支払利息)	139,487	-	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	6,355,666			
経常収支比率	100.0		101.9	103.7
医業収支比率	-		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	93.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-

備考：
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名	横浜市				
病院名	市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	79,612 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	34	指定病院の状況	救臨が感災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	624	82.5	88.0	87.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	26	-	-	-
計	650	79.2	84.5	84.4
平均在院日数(一般病床のみ)		11.7	11.0	11.6

設立団体の状況		
人口(人)	3,777,491	
決算規模(千円)	2,369,287,047	
標準財政規模(千円)	957,786,462	
財政力指数	0.97	
経常収支比率(%)	100.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.5
	将来負担比率(%)	137.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.8
修正医業収益(千円)	22,851,021

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	27,329,199			
1 経常収益	27,174,314			
(1) 医業収益	23,031,079			
入院収益	15,123,008			
外来収益	7,127,816			
診療収入計	22,250,824			
その他医業収益	780,255			
(うち他会計負担金)	180,058			
(2) 医業外収益	4,143,235			
(うち国・都道府県補助金)	1,628,238			
(うち他会計補助・負担金)	877,679			
(うち長期前受金戻入)	993,784			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	154,885			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	28,166,420			
2 経常費用	27,359,582			
(1) 医業費用	26,016,387			
職員給与費	12,133,965	52.7	62.1	55.8
材料費	7,088,724	30.8	25.3	29.8
(うち薬品費)	4,192,407	18.2	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,784,836	12.1	11.4	13.0
減価償却費	2,095,020	9.1	9.5	8.7
経費	4,646,497	20.2	22.7	19.7
(うち委託料)	2,175,672	9.4	12.6	12.6
研究研修費	47,993			
資産減耗費	4,188			
(2) 医業外費用	1,343,195			
(うち支払利息)	147,818	0.6	1.3	1.2
(3) 特別損失	806,838			
損益				
経常損益	-185,268			
純損益	-837,221			
累積欠損金	6,064,596			
経常収支比率	99.3		101.9	102.5
医業収支比率	88.5		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	3.9		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	4.6		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	3.9		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	95.5		89.3	93.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	102,012,134
1 固定資産	92,377,455
(1) 有形固定資産	88,279,061
(2) 無形固定資産	1,160,230
(3) 投資その他の資産	2,938,164
2 流動資産	9,634,679
(1) 現金及び預金	1,896,076
(2) 未収金及び未収収益	7,552,310
(3) 貸倒引当金()	6,184
(4) 貯蔵品	232,054
3 繰延資産	-
負債合計	99,193,916
1 固定負債	79,274,745
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	72,392,554
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,882,191
(7) リース債務	-
2 流動負債	12,222,118
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,138,401
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,209,896
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,824,609
(9) 前受金及び前受収益	1,415
3 繰延収益	7,697,053
(1) 長期前受金	25,185,004
(2) 長期前受金収益化累計額()	17,487,951
資本合計	2,818,218
1 資本金	37,517,072
2 剰余金	-34,698,854
(1) 資本金剰余金	8,794,155
(2) 利益剰余金	-43,493,009
負債・資本合計	102,012,134
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,057,737	1,057,737
資本勘定繰入	991,029	991,029
計	2,048,766	2,048,766

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	151.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名	横浜市				
病院名	みなと赤十字病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	74,148 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	36	指定病院の状況	救臨が 災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	584	75.4	83.6	87.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	50.6	55.5	54.1
感染症	-	-	-	-
計	634	73.4	81.4	84.8
平均在院日数(一般病床のみ)		10.5	10.0	11.6

設立団体の状況		
人口(人)	3,777,491	
決算規模(千円)	2,369,287,047	
標準財政規模(千円)	957,786,462	
財政力指数	0.97	
経常収支比率(%)	100.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.5
	将来負担比率(%)	137.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,277,937			
1 経常収益	5,271,514			
(1) 医業収益	61,773			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	61,773			
(うち他会計負担金)	61,773			
(2) 医業外収益	5,209,741			
(うち国・都道府県補助金)	2,738,391			
(うち他会計補助・負担金)	590,628			
(うち長期前受金戻入)	1,257,429			
(うち資本費繰入収益)	225,121			
(3) 特別利益	6,423			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,130,454			
2 経常費用	5,124,031			
(1) 医業費用	4,620,503			
職員給与費	-	-	62.1	55.8
材料費	-	-	25.3	29.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	13.0
減価償却費	1,543,568	2498.8	9.5	8.7
経費	3,076,515	4980.4	22.7	19.7
(うち委託料)	-	-	12.6	12.6
研究研修費	-	-		
資産減耗費	420			
(2) 医業外費用	503,528			
(うち支払利息)	501,140	811.3	1.3	1.2
(3) 特別損失	6,423			
損益				
経常損益	147,483			
純損益	147,483			
累積欠損金	12,196,600			
経常収支比率	102.9		101.9	102.5
医業収支比率	1.3		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	12.4		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	1056.1		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	12.4		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	90.1		89.3	93.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	102,012,134
1 固定資産	92,377,455
(1) 有形固定資産	88,279,061
(2) 無形固定資産	1,160,230
(3) 投資その他の資産	2,938,164
2 流動資産	9,634,679
(1) 現金及び預金	1,896,076
(2) 未収金及び未収収益	7,552,310
(3) 貸倒引当金()	6,184
(4) 貯蔵品	232,054
3 繰延資産	-
負債合計	99,193,916
1 固定負債	79,274,745
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	72,392,554
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,882,191
(7) リース債務	-
2 流動負債	12,222,118
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,138,401
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,209,896
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,824,609
(9) 前受金及び前受収益	1,415
3 繰延収益	7,697,053
(1) 長期前受金	25,185,004
(2) 長期前受金収益化累計額()	17,487,951
資本合計	2,818,218
1 資本金	37,517,072
2 剰余金	-34,698,854
(1) 資本金剰余金	8,794,155
(2) 利益剰余金	-43,493,009
負債・資本合計	102,012,134
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	646,128	652,401
資本勘定繰入	1,312,094	1,537,215
計	1,958,222	2,189,616

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	151.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名	横浜市				
病院名	脳卒中・神経脊椎センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	38,737 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	10	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	300	75.1	77.1	77.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	75.1	77.1	77.7
平均在院日数(一般病床のみ)		33.1	32.9	31.4

設立団体の状況		
人口(人)	3,777,491	
決算規模(千円)	2,369,287,047	
標準財政規模(千円)	957,786,462	
財政力指数	0.97	
経常収支比率(%)	100.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.5
	将来負担比率(%)	137.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	70.2
修正医業収益(千円)	5,450,131

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,403,159			
1 経常収益	8,400,752			
(1) 医業収益	5,550,946			
入院収益	4,909,298			
外来収益	482,778			
診療収入計	5,392,076			
その他医業収益	158,870			
(うち他会計負担金)	100,815			
(2) 医業外収益	2,849,806			
(うち国・都道府県補助金)	443,539			
(うち他会計補助・負担金)	1,844,388			
(うち長期前受金戻入)	402,497			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,407			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,239,659			
2 経常費用	8,220,463			
(1) 医業費用	7,759,913			
職員給与費	4,084,344	73.6	62.1	63.5
材料費	1,113,323	20.1	25.3	24.9
(うち薬品費)	189,593	3.4	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	828,609	14.9	11.4	11.8
減価償却費	684,784	12.3	9.5	10.0
経費	1,853,222	33.4	22.7	21.7
(うち委託料)	902,977	16.3	12.6	12.2
研究研修費	10,878			
資産減耗費	13,362			
(2) 医業外費用	460,550			
(うち支払利息)	209,922	3.8	1.3	1.4
(3) 特別損失	19,196			
損益				
経常損益	180,289			
純損益	163,500			
累積欠損金	25,231,813			
経常収支比率	102.2		101.9	101.7
医業収支比率	71.5		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	23.2		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	35.0		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	23.1		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	78.5		89.3	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	102,012,134
1 固定資産	92,377,455
(1) 有形固定資産	88,279,061
(2) 無形固定資産	1,160,230
(3) 投資その他の資産	2,938,164
2 流動資産	9,634,679
(1) 現金及び預金	1,896,076
(2) 未収金及び未収収益	7,552,310
(3) 貸倒引当金()	6,184
(4) 貯蔵品	232,054
3 繰延資産	-
負債合計	99,193,916
1 固定負債	79,274,745
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	72,392,554
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,882,191
(7) リース債務	-
2 流動負債	12,222,118
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,138,401
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,209,896
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,824,609
(9) 前受金及び前受収益	1,415
3 繰延収益	7,697,053
(1) 長期前受金	25,185,004
(2) 長期前受金収益化累計額()	17,487,951
資本合計	2,818,218
1 資本金	37,517,072
2 剰余金	-34,698,854
(1) 資本金剰余金	8,794,155
(2) 利益剰余金	-43,493,009
負債・資本合計	102,012,134
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,945,203	1,945,203
資本勘定繰入	985,981	985,981
計	2,931,184	2,931,184

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	151.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		川崎市			
病院名		川崎病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	49,902 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	43	指定病院の状況	救臨 感 災 地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	663	60.6	70.0	74.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	38	44.3	42.8	44.2
感染症	12	53.8	4.6	-
計	713	59.6	67.4	71.3
平均在院日数(一般病床のみ)		12.2	12.3	12.4

設立団体の状況		
人口(人)	1,538,262	
決算規模(千円)	903,211,857	
標準財政規模(千円)	384,273,580	
財政力指数	1.03	
経常収支比率(%)	97.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	122.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.4
修正医業収益(千円)	15,374,270

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	23,277,322			
1 経常収益	19,955,970			
(1) 医業収益	16,567,662			
入院収益	10,832,966			
外来収益	4,328,068			
診療収入計	15,161,034			
その他医業収益	1,406,628			
(うち他会計負担金)	1,193,392			
(2) 医業外収益	3,388,308			
(うち国・都道府県補助金)	490,937			
(うち他会計補助・負担金)	2,133,343			
(うち長期前受金戻入)	360,960			
(うち資本費繰入収益)	227,341			
(3) 特別利益	3,321,352			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,771,768			
2 経常費用	20,595,934			
(1) 医業費用	19,603,090			
職員給与費	10,318,938	62.3	62.1	55.8
材料費	4,204,150	25.4	25.3	29.8
(うち薬品費)	2,232,614	13.5	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,864,882	11.3	11.4	13.0
減価償却費	1,099,626	6.6	9.5	8.7
経費	3,886,776	23.5	22.7	19.7
(うち委託料)	2,553,181	15.4	12.6	12.6
研究研修費	57,133			
資産減耗費	36,467			
(2) 医業外費用	992,844			
(うち支払利息)	247,823	1.5	1.3	1.2
(3) 特別損失	175,834			
損益				
経常損益	-639,964			
純損益	2,505,554			
累積欠損金	958,266			
経常収支比率	96.9		101.9	102.5
医業収支比率	84.5		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	16.7		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	20.1		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	14.3		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	80.7		89.3	93.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	53,234,565
1 固定資産	43,889,947
(1) 有形固定資産	43,887,750
(2) 無形固定資産	2,197
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	9,344,618
(1) 現金及び預金	4,536,681
(2) 未収金及び未収収益	4,697,262
(3) 貸倒引当金()	74,972
(4) 貯蔵品	181,778
3 繰延資産	-
負債合計	57,720,400
1 固定負債	47,053,375
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	41,282,431
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,677,906
(7) リース債務	93,038
2 流動負債	9,194,944
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,675,817
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	963,301
(6) リース債務	37,255
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,406,284
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,472,081
(1) 長期前受金	16,588,192
(2) 長期前受金収益化累計額()	15,116,111
資本合計	-4,485,835
1 資本金	15,825,753
2 剰余金	-20,311,588
(1) 資本剰余金	1,963,306
(2) 利益剰余金	-22,274,894
負債・資本合計	53,234,565
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	4,485,835
資本不足額(繰延収益控除後)()	3,013,754
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	3,326,465	3,326,735
資本勘定繰入	1,260,303	1,260,303
計	4,586,768	4,587,038

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	88.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名	川崎市				
病院名	井田病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	36,071 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	37	指定病院の状況	救臨が感 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	343	73.8	84.6	83.5
療養	-	-	-	-
結核	40	1.1	43.2	38.4
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	383	66.2	80.2	78.8
平均在院日数(一般病床のみ)		16.1	16.0	15.5

設立団体の状況		
人口(人)	1,538,262	
決算規模(千円)	903,211,857	
標準財政規模(千円)	384,273,580	
財政力指数	1.03	
経常収支比率(%)	97.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	122.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	71.0
修正医業収益(千円)	7,395,718

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,638,837			
1 経常収益	9,862,016			
(1) 医業収益	7,749,327			
入院収益	4,514,682			
外来収益	2,710,433			
診療収入計	7,225,115			
その他医業収益	524,212			
(うち他会計負担金)	353,609			
(2) 医業外収益	2,112,689			
(うち国・都道府県補助金)	415,820			
(うち他会計補助・負担金)	1,279,314			
(うち長期前受金戻入)	262,757			
(うち資本費繰入収益)	70,358			
(3) 特別利益	1,776,821			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,065,389			
2 経常費用	11,012,147			
(1) 医業費用	10,416,463			
職員給与費	5,504,808	71.0	62.1	63.5
材料費	2,066,371	26.7	25.3	24.9
(うち薬品費)	1,266,948	16.3	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	740,316	9.6	11.4	11.8
減価償却費	872,382	11.3	9.5	10.0
経費	1,950,138	25.2	22.7	21.7
(うち委託料)	1,225,629	15.8	12.6	12.2
研究研修費	17,422			
資産減耗費	5,342			
(2) 医業外費用	595,684			
(うち支払利息)	231,659	3.0	1.3	1.4
(3) 特別損失	53,242			
損益				
経常損益	-1,150,131			
純損益	573,448			
累積欠損金	18,359,344			
経常収支比率	89.6		101.9	101.7
医業収支比率	74.4		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	16.6		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	21.1		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	14.0		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	74.7		89.3	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	53,234,565
1 固定資産	43,889,947
(1) 有形固定資産	43,887,750
(2) 無形固定資産	2,197
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	9,344,618
(1) 現金及び預金	4,536,681
(2) 未収金及び未収収益	4,697,262
(3) 貸倒引当金()	74,972
(4) 貯蔵品	181,778
3 繰延資産	-
負債合計	57,720,400
1 固定負債	47,053,375
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	41,282,431
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,677,906
(7) リース債務	93,038
2 流動負債	9,194,944
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,675,817
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	963,301
(6) リース債務	37,255
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,406,284
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,472,081
(1) 長期前受金	16,588,192
(2) 長期前受金収益化累計額()	15,116,111
資本合計	-4,485,835
1 資本金	15,825,753
2 剰余金	-20,311,588
(1) 資本金剰余金	1,963,306
(2) 利益剰余金	-22,274,894
負債・資本合計	53,234,565
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	4,485,835
資本不足額(繰延収益控除後)()	3,013,754
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,632,863	1,632,923
資本勘定繰入	337,104	337,104
計	1,969,967	1,970,027

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	88.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名		川崎市			
病院名		多摩病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	35,620 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	32	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	376	62.5	83.0	81.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	376	62.5	83.0	81.9
平均在院日数(一般病床のみ)		10.7	10.6	10.1

設立団体の状況		
人口(人)	1,538,262	
決算規模(千円)	903,211,857	
標準財政規模(千円)	384,273,580	
財政力指数	1.03	
経常収支比率(%)	97.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	122.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	46.0
修正医業収益(千円)	672,102

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,944,802			
1 経常収益	1,912,646			
(1) 医業収益	984,501			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	984,501			
(うち他会計負担金)	312,399			
(2) 医業外収益	928,145			
(うち国・都道府県補助金)	1,334			
(うち他会計補助・負担金)	433,121			
(うち長期前受金戻入)	493,652			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	32,156			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,758,518			
2 経常費用	1,758,370			
(1) 医業費用	1,460,538			
職員給与費	25,344	2.6	62.1	63.5
材料費	-	-	25.3	24.9
(うち薬品費)	-	-	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	11.8
減価償却費	770,488	78.3	9.5	10.0
経費	651,528	66.2	22.7	21.7
(うち委託料)	20,269	2.1	12.6	12.2
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	13,178	-	-	-
(2) 医業外費用	297,832			
(うち支払利息)	297,832	30.3	1.3	1.4
(3) 特別損失	148			
損益				
経常損益	154,276			
純損益	186,284			
累積欠損金	2,957,284			
経常収支比率	108.8		101.9	101.7
医業収支比率	67.4		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	39.0		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	75.7		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	38.3		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	66.4		89.3	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	53,234,565
1 固定資産	43,889,947
(1) 有形固定資産	43,887,750
(2) 無形固定資産	2,197
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	9,344,618
(1) 現金及び預金	4,536,681
(2) 未収金及び未収収益	4,697,262
(3) 貸倒引当金()	74,972
(4) 貯蔵品	181,778
3 繰延資産	-
負債合計	57,720,400
1 固定負債	47,053,375
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	41,282,431
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,677,906
(7) リース債務	93,038
2 流動負債	9,194,944
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,675,817
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	963,301
(6) リース債務	37,255
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,406,284
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,472,081
(1) 長期前受金	16,588,192
(2) 長期前受金収益化累計額()	15,116,111
資本合計	-4,485,835
1 資本金	15,825,753
2 剰余金	-20,311,588
(1) 資本金剰余金	1,963,306
(2) 利益剰余金	-22,274,894
負債・資本合計	53,234,565
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	4,485,835
資本不足額(繰延収益控除後)()	3,013,754
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	745,520	745,520
資本勘定繰入	657,534	657,534
計	1,403,054	1,403,054

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	88.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名	横須賀市				
病院名	市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I 訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	26,943 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	29	指定病院の状況	救臨 感 災 地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	476	45.5	52.0	55.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	8.2	-
計	482	44.9	51.4	54.4
平均在院日数(一般病床のみ)		14.1	14.4	14.1

設立団体の状況		
人口(人)	388,078	
決算規模(千円)	198,572,788	
標準財政規模(千円)	84,535,230	
財政力指数	0.81	
経常収支比率(%)	101.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.4
	将来負担比率(%)	31.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,323,813			
1 経常収益	2,323,813			
(1) 医業収益	417,092			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	417,092			
(うち他会計負担金)	402,000			
(2) 医業外収益	1,906,721			
(うち国・都道府県補助金)	1,652,514			
(うち他会計補助・負担金)	221,000			
(うち長期前受金戻入)	16,664			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,652,281			
2 経常費用	2,644,998			
(1) 医業費用	2,614,250			
職員給与費	25,519	6.1	62.1	59.8
材料費	-	-	25.3	27.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	12.4
減価償却費	556,732	133.5	9.5	8.2
経費	2,030,118	486.7	22.7	19.2
(うち委託料)	15,934	3.8	12.6	10.2
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	1,881	-	-	-
(2) 医業外費用	30,748	-	-	-
(うち支払利息)	18,274	4.4	1.3	1.2
(3) 特別損失	7,283	-	-	-
損益				
経常損益	-321,185			
純損益	-328,468			
累積欠損金	7,724,238			
経常収支比率	87.9		101.9	103.7
医業収支比率	16.0		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	26.8		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	149.4		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	26.8		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	64.3		89.3	93.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	18,086,027
1 固定資産	11,864,253
(1) 有形固定資産	11,860,572
(2) 無形固定資産	3,681
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	6,221,774
(1) 現金及び預金	3,509,229
(2) 未収金及び未収収益	2,716,595
(3) 貸倒引当金()	4,058
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	7,725,993
1 固定負債	3,639,819
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,588,589
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	51,230
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,318,126
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	499,324
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	9,837
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,805,395
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	768,048
(1) 長期前受金	2,046,017
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,277,969
資本合計	10,360,034
1 資本金	12,765,956
2 剰余金	-2,405,922
(1) 資本金剰余金	4,061,627
(2) 利益剰余金	-6,467,549
負債・資本合計	18,086,027
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	0.6
修正医業収益(千円)	15,092

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	702,544	623,000
資本勘定繰入	214,869	-
計	917,413	623,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1487.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名	横須賀市				
病院名	うわまち病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	20,514 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	367	67.1	80.4	80.4
療養	50	56.6	85.2	68.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	417	65.8	80.9	79.0
平均在院日数(一般病床のみ)		13.2	11.2	10.7

設立団体の状況		
人口(人)	388,078	
決算規模(千円)	198,572,788	
標準財政規模(千円)	84,535,230	
財政力指数	0.81	
経常収支比率(%)	101.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.4
	将来負担比率(%)	31.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	0.8
修正医業収益(千円)	17,624

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,411,910			
1 経常収益	2,411,910			
(1) 医業収益	17,624			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	17,624			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	2,394,286			
(うち国・都道府県補助金)	1,844,840			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	37,400			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,385,635			
2 経常費用	2,385,635			
(1) 医業費用	2,347,856			
職員給与費	25,519	144.8	62.1	59.8
材料費	-	-	25.3	27.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	12.4
減価償却費	354,780	2013.1	9.5	8.2
経費	1,966,458	11157.8	22.7	19.2
(うち委託料)	20,460	116.1	12.6	10.2
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	1,099	-	-	-
(2) 医業外費用	37,779	-	-	-
(うち支払利息)	16,322	92.6	1.3	1.2
(3) 特別損失	-	-	-	-
損益				
経常損益	26,275			
純損益	26,275			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.1		101.9	103.7
医業収支比率	0.8		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	101.1		89.3	93.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	18,086,027
1 固定資産	11,864,253
(1) 有形固定資産	11,860,572
(2) 無形固定資産	3,681
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	6,221,774
(1) 現金及び預金	3,509,229
(2) 未収金及び未収収益	2,716,595
(3) 貸倒引当金()	4,058
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	7,725,993
1 固定負債	3,639,819
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,588,589
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	51,230
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,318,126
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	499,324
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	9,837
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,805,395
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	768,048
(1) 長期前受金	2,046,017
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,277,969
資本合計	10,360,034
1 資本金	12,765,956
2 剰余金	-2,405,922
(1) 資本金剰余金	4,061,627
(2) 利益剰余金	-6,467,549
負債・資本合計	18,086,027
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	536,464	-
資本勘定繰入	168,250	105,000
計	704,714	105,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1487.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名	平塚市				
病院名	平塚市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	34,719 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	29	指定病院の状況	救臨 感 災 地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	410	75.9	85.1	85.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	416	74.8	83.9	84.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.1	12.5	12.5

設立団体の状況		
人口(人)	258,422	
決算規模(千円)	114,847,635	
標準財政規模(千円)	50,050,592	
財政力指数	0.98	
経常収支比率(%)	95.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.5
	将来負担比率(%)	20.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.5
修正医業収益(千円)	11,286,051

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,865,696			
1 経常収益	16,505,030			
(1) 医業収益	11,732,370			
入院収益	7,944,178			
外来収益	3,107,566			
診療収入計	11,051,744			
その他医業収益	680,626			
(うち他会計負担金)	446,319			
(2) 医業外収益	4,772,660			
(うち国・都道府県補助金)	3,193,035			
(うち他会計補助・負担金)	968,473			
(うち長期前受金戻入)	326,805			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	360,666			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,544,779			
2 経常費用	14,301,131			
(1) 医業費用	13,677,151			
職員給与費	7,652,220	65.2	62.1	59.8
材料費	2,707,704	23.1	25.3	27.7
(うち薬品費)	1,418,072	12.1	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,289,632	11.0	11.4	12.4
減価償却費	986,584	8.4	9.5	8.2
経費	2,300,467	19.6	22.7	19.2
(うち委託料)	1,597,442	13.6	12.6	10.2
研究研修費	24,106			
資産減耗費	6,070			
(2) 医業外費用	623,980			
(うち支払利息)	84,107	0.7	1.3	1.2
(3) 特別損失	243,648			
損益				
経常損益	2,203,899			
純損益	2,320,917			
累積欠損金	3,265,620			
経常収支比率	115.4		101.9	103.7
医業収支比率	85.8		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	8.6		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	12.1		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	8.4		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	105.5		89.3	93.1

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,325,028
1 固定資産	17,372,506
(1) 有形固定資産	15,857,990
(2) 無形固定資産	413,846
(3) 投資その他の資産	1,100,670
2 流動資産	6,952,522
(1) 現金及び預金	1,813,452
(2) 未収金及び未収収益	5,157,276
(3) 貸倒引当金()	84,472
(4) 貯蔵品	46,935
3 繰延資産	-
負債合計	21,189,625
1 固定負債	17,495,175
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,731,159
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	3,500,000
(6) 引当金	2,094,967
(7) リース債務	169,049
2 流動負債	2,359,482
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	572,164
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	458,709
(6) リース債務	134,523
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,158,597
(9) 前受金及び前受収益	535
3 繰延収益	1,334,968
(1) 長期前受金	3,289,279
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,954,311
資本合計	3,135,403
1 資本金	6,199,592
2 剰余金	-3,064,189
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-3,064,189
負債・資本合計	24,325,028
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,415,578	1,414,792
資本勘定繰入	270,332	253,192
計	1,685,910	1,667,984

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	27.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名	藤沢市				
病院名	藤沢市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	57,595 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	35	指定病院の状況	救臨が感災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	530	76.3	88.0	89.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	54.6	10.0	-
計	536	76.0	87.1	88.9
平均在院日数(一般病床のみ)		10.3	10.4	10.5

設立団体の状況		
人口(人)	436,905	
決算規模(千円)	200,717,027	
標準財政規模(千円)	87,347,528	
財政力指数	1.08	
経常収支比率(%)	95.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.2
	将来負担比率(%)	41.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	20,957,813			
1 経常収益	20,913,128			
(1) 医業収益	17,482,935			
入院収益	11,388,439			
外来収益	5,295,288			
診療収入計	16,683,727			
その他医業収益	799,208			
(うち他会計負担金)	394,030			
(2) 医業外収益	3,430,193			
(うち国・都道府県補助金)	2,041,774			
(うち他会計補助・負担金)	1,024,524			
(うち長期前受金戻入)	107,057			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	44,685			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,926,108			
2 経常費用	20,720,596			
(1) 医業費用	19,716,557			
職員給与費	10,109,121	57.8	62.1	55.8
材料費	4,860,565	27.8	25.3	29.8
(うち薬品費)	2,425,232	13.9	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,315,606	13.2	11.4	13.0
減価償却費	1,468,505	8.4	9.5	8.7
経費	3,218,313	18.4	22.7	19.7
(うち委託料)	2,222,167	12.7	12.6	12.6
研究研修費	35,158			
資産減耗費	24,895			
(2) 医業外費用	1,004,039			
(うち支払利息)	96,731	0.6	1.3	1.2
(3) 特別損失	205,512			
損益				
経常損益	192,532			
純損益	31,705			
累積欠損金	4,637,638			
経常収支比率	100.9		101.9	102.5
医業収支比率	88.7		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	6.8		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	8.1		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	6.8		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	94.1		89.3	93.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,041,500
1 固定資産	15,454,385
(1) 有形固定資産	14,277,346
(2) 無形固定資産	734,684
(3) 投資その他の資産	442,355
2 流動資産	8,587,115
(1) 現金及び預金	3,867,523
(2) 未収金及び未収収益	4,695,484
(3) 貸倒引当金()	24,491
(4) 貯蔵品	48,599
3 繰延資産	-
負債合計	19,047,241
1 固定負債	14,901,554
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,339,463
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,047,486
(7) リース債務	514,605
2 流動負債	3,440,501
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	668,794
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	589,924
(6) リース債務	231,070
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,877,215
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	705,186
(1) 長期前受金	1,192,815
(2) 長期前受金収益化累計額()	487,629
資本合計	4,994,259
1 資本金	9,575,890
2 剰余金	-4,581,631
(1) 資本金剰余金	56,007
(2) 利益剰余金	-4,637,638
負債・資本合計	24,041,500
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.7
修正医業収益(千円)	17,088,905

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,520,476	1,418,554
資本勘定繰入	83,937	91,637
計	1,604,413	1,510,191

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	26.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		神奈川県	
市町村・組合名	小田原市		
病院名	市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓カ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	24,393 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	26	指定病院の状況	救臨が 災地 輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	400床以上~500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	417	68.7	86.3	83.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	417	68.7	86.3	83.2
平均在院日数(一般病床のみ)		9.9	10.4	10.0

設立団体の状況		
人口(人)	188,856	
決算規模(千円)	100,188,554	
標準財政規模(千円)	38,782,679	
財政力指数	0.96	
経常収支比率(%)	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.8
	将来負担比率(%)	22.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,188,084			
1 経常収益	16,188,084			
(1) 医業収益	10,835,844			
入院収益	7,686,976			
外来収益	2,784,110			
診療収入計	10,471,086			
その他医業収益	364,758			
(うち他会計負担金)	269,299			
(2) 医業外収益	5,352,240			
(うち国・都道府県補助金)	4,073,490			
(うち他会計補助・負担金)	1,190,701			
(うち長期前受金戻入)	12,698			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,152,456			
2 経常費用	13,116,145			
(1) 医業費用	12,590,366			
職員給与費	7,196,181	66.4	62.1	59.8
材料費	2,671,879	24.7	25.3	27.7
(うち薬品費)	1,264,184	11.7	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,315,700	12.1	11.4	12.4
減価償却費	732,582	6.8	9.5	8.2
経費	1,952,175	18.0	22.7	19.2
(うち委託料)	1,205,126	11.1	12.6	10.2
研究研修費	16,464			
資産減耗費	21,085			
(2) 医業外費用	525,779			
(うち支払利息)	8,269	0.1	1.3	1.2
(3) 特別損失	36,311			
損益				
経常損益	3,071,939			
純損益	3,035,628			
累積欠損金	-			
経常収支比率	123.4		101.9	103.7
医業収支比率	86.1		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	9.0		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	13.5		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	9.0		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	112.3		89.3	93.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,909,840
1 固定資産	6,218,114
(1) 有形固定資産	5,972,246
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	245,868
2 流動資産	8,691,726
(1) 現金及び預金	5,099,174
(2) 未収金及び未収収益	3,574,239
(3) 貸倒引当金()	14,000
(4) 貯蔵品	32,313
3 繰延資産	-
負債合計	5,278,812
1 固定負債	2,584,621
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	552,927
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,262,515
(7) リース債務	769,179
2 流動負債	2,254,680
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	217,051
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	395,509
(6) リース債務	209,030
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,417,766
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	439,511
(1) 長期前受金	843,112
(2) 長期前受金収益化累計額()	403,601
資本合計	9,631,028
1 資本金	4,872,663
2 剰余金	4,758,365
(1) 資本金剰余金	199,326
(2) 利益剰余金	4,559,039
負債・資本合計	14,909,840
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.9
修正医業収益(千円)	10,566,545

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,604,119	1,460,000
資本勘定繰入	308,750	-
計	1,912,869	1,460,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名	茅ヶ崎市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	28,878 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨 災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	401	64.4	75.1	74.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	401	64.4	75.1	74.3
平均在院日数(一般病床のみ)		10.9	10.8	10.7

設立団体の状況		
人口(人)	242,389	
決算規模(千円)	99,447,294	
標準財政規模(千円)	43,048,383	
財政力指数	0.96	
経常収支比率(%)	96.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.2
	将来負担比率(%)	48.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.9
修正医業収益(千円)	9,346,856

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,180,767			
1 経常収益	12,128,825			
(1) 医業収益	9,634,732			
入院収益	5,918,532			
外来収益	3,130,349			
診療収入計	9,048,881			
その他医業収益	585,851			
(うち他会計負担金)	287,876			
(2) 医業外収益	2,494,093			
(うち国・都道府県補助金)	1,498,142			
(うち他会計補助・負担金)	726,034			
(うち長期前受金戻入)	212,320			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	51,942			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,092,745			
2 経常費用	12,018,901			
(1) 医業費用	11,411,813			
職員給与費	6,272,941	65.1	62.1	59.8
材料費	2,431,902	25.2	25.3	27.7
(うち薬品費)	1,321,816	13.7	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,049,009	10.9	11.4	12.4
減価償却費	812,118	8.4	9.5	8.2
経費	1,870,067	19.4	22.7	19.2
(うち委託料)	1,243,516	12.9	12.6	10.2
研究研修費	19,418			
資産減耗費	5,367			
(2) 医業外費用	607,088			
(うち支払利息)	119,988	1.2	1.3	1.2
(3) 特別損失	73,844			
損益				
経常損益	109,924			
純損益	88,022			
累積欠損金	5,528,061			
経常収支比率	100.9		101.9	103.7
医業収支比率	84.4		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	8.4		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	10.5		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	8.3		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	92.5		89.3	93.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,556,965
1 固定資産	9,522,014
(1) 有形固定資産	9,221,273
(2) 無形固定資産	177,517
(3) 投資その他の資産	123,224
2 流動資産	4,034,951
(1) 現金及び預金	2,273,688
(2) 未収金及び未収収益	1,711,211
(3) 貸倒引当金()	94,311
(4) 貯蔵品	144,363
3 繰延資産	-
負債合計	11,922,722
1 固定負債	9,040,706
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,361,765
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,665,664
(7) リース債務	13,277
2 流動負債	2,130,109
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	748,704
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	368,163
(6) リース債務	80,809
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	887,976
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	751,907
(1) 長期前受金	6,323,534
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,571,627
資本合計	1,634,243
1 資本金	5,383,112
2 剰余金	-3,748,869
(1) 資本金剰余金	1,779,192
(2) 利益剰余金	-5,528,061
負債・資本合計	13,556,965
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,013,910	1,013,910
資本勘定繰入	449,408	449,408
計	1,463,318	1,463,318

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	57.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名	三浦市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,393 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	136	85.8	92.9	89.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	136	85.8	92.9	89.3
平均在院日数(一般病床のみ)		17.9	17.3	15.5

設立団体の状況		
人口(人)	42,069	
決算規模(千円)	24,564,465	
標準財政規模(千円)	10,187,107	
財政力指数	0.61	
経常収支比率(%)	103.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.5
	将来負担比率(%)	118.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.6
修正医業収益(千円)	2,119,105

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,570,219			
1 経常収益	2,570,214			
(1) 医業収益	2,291,276			
入院収益	1,482,631			
外来収益	525,678			
診療収入計	2,008,309			
その他医業収益	282,967			
(うち他会計負担金)	172,171			
(2) 医業外収益	278,938			
(うち国・都道府県補助金)	159,839			
(うち他会計補助・負担金)	83,019			
(うち長期前受金戻入)	5,981			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,564,255			
2 経常費用	2,560,297			
(1) 医業費用	2,448,183			
職員給与費	1,562,298	68.2	62.1	67.4
材料費	258,135	11.3	25.3	17.7
(うち薬品費)	99,235	4.3	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	157,873	6.9	11.4	8.8
減価償却費	150,931	6.6	9.5	10.7
経費	469,745	20.5	22.7	29.2
(うち委託料)	305,327	13.3	12.6	13.9
研究研修費	6,057			
資産減耗費	1,017			
(2) 医業外費用	112,114			
(うち支払利息)	37,307	1.6	1.3	1.5
(3) 特別損失	3,958			
損益				
経常損益	9,917			
純損益	5,964			
累積欠損金	887,608			
経常収支比率	100.4		101.9	100.3
医業収支比率	93.6		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	9.9		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	11.1		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	9.9		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	90.4		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,849,517
1 固定資産	2,505,840
(1) 有形固定資産	2,488,697
(2) 無形固定資産	443
(3) 投資その他の資産	16,700
2 流動資産	1,343,677
(1) 現金及び預金	649,557
(2) 未収金及び未収収益	691,493
(3) 貸倒引当金()	9,419
(4) 貯蔵品	9,609
3 繰延資産	-
負債合計	2,687,898
1 固定負債	2,015,253
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,813,141
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	202,112
(7) リース債務	-
2 流動負債	565,222
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	212,698
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	112,236
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	217,504
(9) 前受金及び前受収益	10,099
3 繰延収益	107,423
(1) 長期前受金	305,116
(2) 長期前受金収益化累計額()	197,693
資本合計	1,161,619
1 資本金	2,049,227
2 剰余金	-887,608
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-887,608
負債・資本合計	3,849,517
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	255,190	255,190
資本勘定繰入	136,602	137,702
計	391,792	392,892

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	38.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名	厚木市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	32,585 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨 感 災 地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	341	62.7	73.6	77.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	54.1	7.9	-
計	347	62.6	72.5	76.0
平均在院日数(一般病床のみ)		9.3	9.7	9.9

設立団体の状況		
人口(人)	223,705	
決算規模(千円)	119,825,190	
標準財政規模(千円)	52,981,726	
財政力指数	1.26	
経常収支比率(%)	83.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.5
	将来負担比率(%)	39.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,316,369			
1 経常収益	12,092,383			
(1) 医業収益	8,787,363			
入院収益	5,111,792			
外来収益	2,451,197			
診療収入計	7,562,989			
その他医業収益	1,224,374			
(うち他会計負担金)	1,059,744			
(2) 医業外収益	3,305,020			
(うち国・都道府県補助金)	2,536,388			
(うち他会計補助・負担金)	299,635			
(うち長期前受金戻入)	403,833			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	223,986			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,203,320			
2 経常費用	10,991,280			
(1) 医業費用	10,507,480			
職員給与費	5,603,953	63.8	62.1	63.5
材料費	1,960,765	22.3	25.3	24.9
(うち薬品費)	895,279	10.2	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,063,487	12.1	11.4	11.8
減価償却費	1,131,221	12.9	9.5	10.0
経費	1,778,036	20.2	22.7	21.7
(うち委託料)	1,209,628	13.8	12.6	12.2
研究研修費	12,809			
資産減耗費	20,696			
(2) 医業外費用	483,800			
(うち支払利息)	104,655	1.2	1.3	1.4
(3) 特別損失	212,040			
損益				
経常損益	1,101,103			
純損益	1,113,049			
累積欠損金	6,579,905			
経常収支比率	110.0		101.9	101.7
医業収支比率	83.6		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	11.2		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	15.5		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	11.0		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	97.7		89.3	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	21,517,316
1 固定資産	17,547,742
(1) 有形固定資産	16,317,482
(2) 無形固定資産	5,922
(3) 投資その他の資産	1,224,338
2 流動資産	3,969,574
(1) 現金及び預金	1,711,100
(2) 未収金及び未収収益	2,185,957
(3) 貸倒引当金()	1,700
(4) 貯蔵品	74,217
3 繰延資産	-
負債合計	21,076,080
1 固定負債	17,931,769
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,880,921
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	2,214,133
(6) 引当金	803,740
(7) リース債務	32,975
2 流動負債	2,004,245
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	713,701
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	33,286
(5) 引当金	362,990
(6) リース債務	42,391
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	840,724
(9) 前受金及び前受収益	2,750
3 繰延収益	1,140,066
(1) 長期前受金	3,246,409
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,106,343
資本合計	441,236
1 資本金	4,034,683
2 剰余金	-3,593,447
(1) 資本金剰余金	2,924,458
(2) 利益剰余金	-6,517,905
負債・資本合計	21,517,316
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	73.5
修正医業収益(千円)	7,727,619

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,664,343	1,359,379
資本勘定繰入	337,035	574,729
計	2,001,378	1,934,108

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	226,259	2.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	74.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				神奈川県	
市町村・組合名	大和市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	27,111 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨が 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	403	61.1	75.8	73.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	403	61.1	75.8	73.9
平均在院日数(一般病床のみ)		10.5	10.5	10.3

設立団体の状況		
人口(人)	239,169	
決算規模(千円)	102,122,753	
標準財政規模(千円)	43,021,259	
財政力指数	0.97	
経常収支比率(%)	98.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.8
	将来負担比率(%)	39.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.8
修正医業収益(千円)	8,856,383

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,184,975			
1 経常収益	12,183,291			
(1) 医業収益	9,167,790			
入院収益	5,460,651			
外来収益	3,147,452			
診療収入計	8,608,103			
その他医業収益	559,687			
(うち他会計負担金)	311,407			
(2) 医業外収益	3,015,501			
(うち国・都道府県補助金)	1,498,043			
(うち他会計補助・負担金)	1,073,703			
(うち長期前受金戻入)	351,582			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,684			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,057,128			
2 経常費用	11,959,064			
(1) 医業費用	11,385,316			
職員給与費	5,939,228	64.8	62.1	59.8
材料費	2,389,635	26.1	25.3	27.7
(うち薬品費)	1,205,364	13.1	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,110,987	12.1	11.4	12.4
減価償却費	798,845	8.7	9.5	8.2
経費	2,227,959	24.3	22.7	19.2
(うち委託料)	1,119,183	12.2	12.6	10.2
研究研修費	12,515			
資産減耗費	17,134			
(2) 医業外費用	573,748			
(うち支払利息)	74,771	0.8	1.3	1.2
(3) 特別損失	98,064			
損益				
経常損益	224,227			
純損益	127,847			
累積欠損金	7,987,782			
経常収支比率	101.9		101.9	103.7
医業収支比率	80.5		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	11.4		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	15.1		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	11.4		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	90.3		89.3	93.1

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,468,071
1 固定資産	7,924,529
(1) 有形固定資産	7,143,799
(2) 無形固定資産	523,816
(3) 投資その他の資産	256,914
2 流動資産	2,543,542
(1) 現金及び預金	301,272
(2) 未収金及び未収収益	2,203,889
(3) 貸倒引当金()	8,227
(4) 貯蔵品	38,378
3 繰延資産	-
負債合計	9,847,034
1 固定負債	5,686,661
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,420,690
(2) その他の企業債	765,300
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,000,000
(6) 引当金	1,500,671
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,348,254
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,102,793
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	394,019
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	850,780
(9) 前受金及び前受収益	83
3 繰延収益	1,812,119
(1) 長期前受金	6,351,092
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,538,973
資本合計	621,037
1 資本金	3,836,193
2 剰余金	-3,215,156
(1) 資本金剰余金	4,772,626
(2) 利益剰余金	-7,987,782
負債・資本合計	10,468,071
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,708,522	1,385,110
資本勘定繰入	502,953	400,000
計	2,211,475	1,785,110

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	87.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。